



介護・交通・リニア... 声を届けた4年間

介護の現場の声を市政に届けたい、山坂の多い地域のみなさんの交通、足の確保を実現したい——この思いで4年間、市議会でとりくんできました。困難はありましたが、何度も何度も訴える中、ようやく光がみえてきた気がします。なんとしても市政を良くするために全力をあげます。

町田市議会議員(1期)、社会福祉士・介護福祉士



渡場さとじ

2期目に挑戦

憲法9条守りぬきます 日本共産党

介護現場の声を届けて

初質問は特養ホーム増設

市議会議員になつての初質問は、特養ホームの増設でした。社会福祉士・介護福祉士として働いた時の経験もふまえ、「特養に入所できないとされた要介護1や2の人でも認知症が重くて在宅介護は無理な人も多い、必要な人が入れるよう」と訴えました。その後も、介護保険料の軽減や介護度が軽い人からのサービスとりあげをさせないとりくみ、在宅介護を支える施設拡充、介護職員の待遇改善などを訴えました。

「思うように進まない」悩む日々もしかし、深刻な実態を聞くたび力が

市の答弁は、つれないものが多く、悩む日も少なくありませんでした。しかし「老老介護」、「介護離職」などの相談は次々寄せられます。80代の認知症の夫を介護していた70代後半の妻が転倒し入院、夫はショートステイの抜け出しを繰り返し、ついに息子さんが仕事をやめて介護せざるを得なくなるケースなど、深刻な相談が寄せられ、渡場さんは背中をおされています。

ようやく見えてきた光

特養ホーム295人分増える

地域密着の介護施設、1・5倍増の計画も



介護を良くする運動に依拠してくりかえし要求するなか、市民運動の力で特養ホームが4年間で295人分増えました。

介護保険料の値上げ幅を
510円から110円に抑える

介護保険料の問題でも、23億円もある市の基金を活用して下げるよう提案。今年4月からの料金が、現在の5390円（基準月額）から当初5900円に値上がりする見込みだったのが、5500円程度と、値上げ幅を大きく圧縮することができました。

渡場さとし
新人議員
奮戦記①



2期目の決意
介護はまだこれから
日本共産党 渡場さとし
年金で入れる
特養ホーム
ふやします

介護の実情は深刻で改善が急がれます。とりわけ、特養ホームの利用料が高く、入所が決まっても負担できず入れない問題の解決はまったくなし。プライバシーに配慮しながら多床室をつくるなど、工夫をして利用料負担が軽い特養ホームの増設に全力をあげます。



みんなと一緒にがんばり
公約した

の改善」で前进

小山田桜台から

唐木田駅へ直通バスの検証運行が開始

—初質問でとりあげ、その後も2回質問



市議になる前からアンケートなども行い交通不便の解決を公約した渡場さん。市議会初質問でも小山田桜台から多摩センター間のバス路線の新設を提案しました。その後も議会で2回とりあげる中で、昨年12月18日から小山田桜台から唐木田駅への直通バスの検証運行(上写真)がはじまりました。

丸山団地から相原駅まで

乗り合いタクシーの実証実験も開始

—くりかえしの質問で、ついに



渡場さんは、急坂が多く道も狭い地域での足の確保をどうするか、必死に研究しデマンド交通が有効だと確信。市議になつた年(2014年)に市にも提案し丸山団地から相原駅への乗り合いタクシー計画が作られました。しかし、狭い道がネックになつていて計画がとん挫していることを知り、昨年3月には、「こういう時こそ市長が指導力を發揮すべき」と迫りました。さらに昨年9月議会でも再度とりあげる中で、今年2月から実証運行(上図)がはじまります。

シルバー・バス改善
市が東京都に要望へ

所得が一定額を越えると、千円から一気に2万円以上になるバスを、所得に応じ、3千円バスを発行する、さらには、橋本駅や淵野辺駅など神奈川県発着のバスにでも利用できるようにするなどの改善を求めました。そうした中、町田市が、負担軽減と都県境の使用について、東京都に意見をあげたことがわかりました。

地元の町内会長、
まちづくり協議会の
監査理事としても奮闘

市議になる前から、地元町会の活動に熱心にとりこんできた渡場さん。現在は町会長や地元のまちづくり協議会の監査理事を務めています。

渡場さとし
新人議員
奮戦記②



2期目の決意
動き出した計画を現
必ず実現

日本共産党 渡場さとし

交通不便の
改善を
さらに前へ

長年の、住民のみなさんの粘り強い運動によって、とりくまれてきた交通不便の改善で、貴重な前進がはじまつたことはうれしい限りです。これからも、みんなと一緒に必ず実現させ、交通対策をいつそう充実させるためにがんばる決意です。



みんなの 願い実現へ。 さらに前へ 渡場さとし

日本共産党



新都議の

池川さんと力あわせ

全員に
中学校と同じ
中学校給食の実現
シルバーパスの改善<sup>3千円バス
都県境こす使用</sup>を
給食費無償、市の奨学金拡充
国民健康保険税1人年1万円の軽減を
認可保育園増設、都市農業振興

バス会社にも直接交渉! 住民運動の成果です

——磯山しづさん
小山田桜台在住



12月からワゴン車で検証運行が
始まり、買い物や通院の時間短縮が
でき本当にうれしいです。将来的には
バス路線に発展することを期待して
います。

地産地消で町田の農業 と緑を守って

——大谷知さん
下小山田町在住



町田市の農業委員を以前務めまし
たが、都市農業振興の鍵は地元産農
産物の販路確保です。小学校と同様
に中学校でも地元産品を使った全員
給食を実現してもらいたい。

坂の多い丸山団地には 必要な交通手段

——星野啓子さん
相原町在住



歳をとっても車が無くても気軽に
外出できれば閉じ籠らずに暮らせま
す。安くて便利な“庶民の足”として
“乗り合いタクシー”に期待します。

介護充実の願いを 託せる人

——山田暁太さん
小山田桜台在住



重い認知症の父、入退院を繰り返
す母、両親の介護で休職となり苦しい
一時期を送りました。母が現在入所す
る特養ホームでは人手不足で職員は
常に忙しそうです。介護の現場をよく
知る渡場さんこそ、再び市政へ。

リニア問題追及に 期待します

——寺田武雄さん
小山町在住



小山田非常口でリニアの工事が
始まれば、多数のダンプカーが多摩
境通りを通行し小中学生の通学路
の安全や、井戸水枯れなど環境への
影響が心配です。

市民の味方 渡場さん

——沢田シヅ枝さん
常盤町在住



国保税値上げ中止などの
請願を行って来ましたが、常
に請願者の立場に立って發
言をする姿勢に対し信頼を
寄せています。

地域のみなさんから声が

な
ら
な
い
地
元
に
な
く
て
は
渡
場
さ
と
し



地域のみなさんに 助けられて

北海道の炭坑町に生まれて

小樽商科大にすすむ

渡場さんが生まれたのは北海道赤平（あかびら）市。炭坑の町で父も炭坑労働者でした。大学は「蟹工船」で有名な小林多喜二の出身校の小樽商科大学。「応援団」で活躍。そこは反骨精神豊かな珍しい応援団で「自分はどう生きるべきか」など真剣に考えました。

父子家庭で2人の子育て

渡場さんは、仕事をしながら一人の男の子の子育てにとりくんできました。両立は苦労しましたが、PTAや町会の活動に積極的に参加。「今思つと、そのことで逆に地域のみなさんに助けてもらいました」と渡場さんは語ります。そのみなさんへの恩返しが渡場さんの原点の一つです

介護現場で働いて

渡場さんは生協の職員を務めたあと、介護に興味をもち資格をとつて特養ホームで働きました。そこで知った介護の深刻な実態。渡場さんの原点です。



渡場さとしの歩み



日本共産党

渡場さとしプロフィール

1965年北海道赤平市生まれ。小樽商科大商学部経済学科卒。大学生協、コープかながわを経て、特別養護老人ホーム職員（社会福祉士・介護福祉士）。2014年市議会議員に初当選（現在1期）。市議会健康福祉常任委員、町田市民生委員推薦会委員、町田市青少年問題協議会委員。家族は母、二男。相原町在住。現町内会長

渡場さとしの活動地域：相原町、小山町、小山ヶ丘1～6丁目、小山田桜台1～2丁目、上小山田町、下小山田町、常盤町、矢部町、根岸町、根岸1～2丁目、図師町（プロードヒルズを除く）、忠生1～4丁目、木曽西2～5丁目、木曽東1丁目、森野4丁目

